

【拡充】庄内浜トップブランド水産物創出事業費

国地方創生関連交付金活用事業

概要

○ 本県水産業の生産額の増加を図るため、付加価値向上、消費拡大策を実施

予算額(当初) : 10,404千円

事業期間: 平成22年度 ~

背景/課題

○ 県産水産物の付加価値向上

- ・水産資源の変動による漁獲量の減少や消費者ニーズの多様化に対応するために、生産基盤の強化及び水産物の付加価値向上、安定供給の取組みが必要
- ・庄内浜産水産物全体の知名度を高めるため、牽引役となる更なるブランド魚種の創出、品質向上と推進体制の構築が必要

○ 県内での消費拡大

- ・地理的条件や食文化の違いなどにより内陸部への流通量が少なく認知度も低い庄内浜産水産物について、「鮮度」や「地元産」をセールスポイントに内陸部に販路を開拓し、県内全域における消費拡大を図る取組みが必要

○ 水産加工は発展途上

- ・庄内浜産水産物は少量多品目であり、加工用原魚として利用しにくい
- ・加工の主力原料であったスルメイカの不漁・価格高騰により加工品の出荷が伸び悩む一方で、量販店からは加工品の取り扱い要望が強く消費者のニーズにあった新たな加工品の開発・商品化が急務

○ 魚食文化の衰退

- ・食生活の変化等により、庄内地域においても地魚に触れる機会が減少し、魚離れが進んでいる。そのため、地魚の美味しさや食文化を後世へ伝える人材を育成するとともに、魚食普及を推進する取組みが必要

事業内容・スキーム

付加価値向上の推進

● 庄内浜トップブランド水産物創出事業【継続】

庄内浜ブランド創出協議会によるブランド魚種の創出及び高付加価値化を推進
《庄内北前ガニ》
【負担割合】県1/3、市町1/3、県漁協1/3
【事業内容】「庄内おぼこサワラ」「トラフグ」「庄内北前ガニ」の品質向上及びプロモーション、新ブランド候補魚種の探索等（庄内水産振興課）



● 県産水産物販売力強化事業【継続】 地方創生関連交付金活用

「おいしい魚加工支援ラボ」を活用した先進的な加工や冷凍技術による新しい加工品開発支援及び高度な鮮度保持技術の開発による品質向上を図る
(庄内水産振興課・水産試験場)

● イワガキの資源回復・地域ブランド化事業【継続】

イワガキ資源回復のための大規模岩盤清掃技術の有効性実証及び地域ブランド化推進のための蓄養技術の開発により、身入りを改善し、高品質化を図る（水産試験場）

● 庄内浜水産物蓄養モデル事業【新規】 地方創生関連交付金活用

蓄養による安定出荷体制の構築や魚価の安定化の実現のため、栽培漁業センターの遊休水槽を活用した蓄養試験を実施し、有効性の検証を行いながらモデルケースを確立することで、県漁協等の将来的な取り組みに繋げる。（水産試験場）

庄内浜産水産物の利用拡大

● 庄内浜の魚消費拡大事業【継続】

庄内浜の魚消費拡大総合プロジェクト推進本部による関係者が一体となったプロジェクトの推進
【負担割合】県1/2、県漁協1/2
【事業内容】
・量販店及び応援店での旬の魚キャンペーンの実施、庄内浜産水産物の販路拡大
・庄内浜の魚まつりin山形等のイベント開催等



● 庄内浜産水産加工品新商品開発強化事業【新規】

内陸量販店からの要望が強い庄内浜産水産加工品の商品開発を強化。主力のイカ加工品に代わる新たな商品開発。
【事業実施主体】県漁協
【補助率】県1/3、沿岸市町1/3

● 庄内浜文化伝道師による魚食普及事業【継続】

調理教室や浜（魚）文化のPRによる庄内浜産水産物の消費拡大及び魚食普及を推進（庄内水産振興課）

事業目標

・海面漁業・養殖業の生産額 H28(現状)29億円 ⇒ R2(目標):33億円

問い合わせ先

- 担当課: 水産振興課 水産業成長産業化担当
- 電話: 023-630-3330